

ぽぽデイだより NO.135 令和6年5月号

社会福祉法人 ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前 669-1133 西宮市東山台 1-1(1階) TEL0797-62-1165

施設長より

NHK のニュース番組で、特別支援学校の教室が足りないという報道を見ました。昨年10月の調査で全国3359の教室が足りないという結果だったそうです。番組中に、「個別の特性に応じた対応をしてもらえるということからニーズが高まっている」という話がありました。朝日新聞では、同じような報道内容に、「通う子どもの数の増加に教室設置が追いついていない状況だ。」と報じていました。文科省の担当者は、「推計よりも通う子どもの数が増えているところもある。(略)」とのコメントがあったそうです。

過去にさかのぼると、平成28年の中央教育審議会から、「個に応じた指導」の答申がありました。随分前から個別に応じた対応の必要性が問われ、現在に渡って個別に応じた教育、福祉が進んでいますが、まだまだ十分でないことや、今回見たニュース番組からも時代の変化に追いついていない部分も感じさせられるニュースだと思いました。

2022年の9月に国連の障害者権利委員会が障害者権利条約に基づいて、日本政府に障害児を分離した特別支援教育の中止などを求める勧告を発表しました。国内の福祉の世界でもノーマライゼーション・インクルージョン・インクルーシブがどんどん進められ、今回の報酬改定でもインクルーシブの取り組みについて評価される内容が増えていました。国内の今後もどんどん変化していくことと思います。

ぽぽデイも時代に合った子どもたちとの関わりやご利用者の方がたの支援を考えていく必要性を改めて感じました。

児童発達支援 🍓 いちご組

進級され1つ大きくなり、気持ちの余裕を感じさせて頂きながら来られているお子さま、初めてご家庭から離れて過ごすお子さま、不安な気持ちから涙を流されていましたが、少しずつ涙を流される時間が短くなり、ぽぽデイのお部屋や職員にも慣れてこられ、笑顔を見せてくれるようになり、嬉しく感じています。一人ひとり色々な表情を届けてくれるお子様たちとの時間を大切に、友だちや職員とあそび『粗大うんどうあそび』(順番などの簡単なルール、体の色々な動きを経験するあそび)や『微細うんどうあそび』(色々な素材に触れる感触あそび、はさみやのり等道具を使う制作あそび)などたくさん楽しんでいきたいと思えます。

児童発達支援
の
一場面です



↑朝の会

←お友だちはどんな絵を描いているかな。

放課後等デイサービス

新しいランドセル、新しい制服姿が輝いて見えます。

ぼぼデイでも各曜日新しいメンバーでの活動が始まっています。少し違う新鮮な雰囲気の中ではありませんが、それぞれが通い慣れたぼぼデイという場所には、知っている職員やお友達がいるということで、変わらず安心して元気に来てくれているようです。新しいお友達も初日から自然とお友達の中に溶け込み、お兄ちゃんお姉ちゃんの遊びを見せてもらったり、一緒に体を動かして鬼ごっこをする姿がありました。また、上級生たちは、「今度は僕たち(が引っ張っていく)の番やろ！」と前向きに気合を入れています。これから一緒に過ごしていく中で、それぞれを認め合い、尊重し合いながら、個々の心地よい過ごし方を見つけていってもらえるように、見守っていききたいと思います。

放課後デイ
の
一場面です

左：お友だち
と新聞紙ボー
ルづくり

右：時間を計
って缶並べ、
応援し合っ
て大盛り上がり



今月の放課後デイおやつの内容について

- ・駄菓子 (アルファベットチョコレート、果汁 100%ゼリー、ぱりんこ、ビスコ、ホームパイ、おにぎりせんべい、ハッピーターン、カプリコ、グミ など)、
- ・ゼリー ・たこ焼き ・アイス ・焼きおにぎり